

一般社団法人 日本応用地質学会
令和3年度・2021 年度
第3回国際委員会・IAEG JAPAN 運営委員会 議事録(案)

日 時 : 2021 年 10 月 20 日(水) 15:00~17:30

場 所 : 国際航業株式会社 六番町オフィス会議室、Zoom を用いた Web 会議(併用)

出席者 : 長谷川委員長、菊地副委員長、加地委員、徳楠委員、百瀬委員、安田委員、山下委員、山田幹事
委任状提出: 越谷委員、昆委員、水野委員、百嶋委員

陪席: 茶石顧問

議事:

1. 前回議事録(案)の確認

- ・前回(2021 年 8 月)に開催した委員会の議事録(案)を了承した。

2. 理事会報告

- ・令和 3 年度第 6 回理事会の内容について報告がなされた。
- ・理事から、IAEG 活動に関する JSEG 内での情報共有に関する要望があったため、Council Meeting の参加報告も含めて速やかに情報発信を行う。

3. IAEG JAPAN 運営委員会活動について

(1) IAEG 事務連絡

1) IAEG Newsletter 関連

- ・2021 No.3 の投稿内容について説明がなされた。
- ・2021 No.4 の投稿原稿については、令和 3 年度研究発表会(10/14-15)などを素材として準備を進める。

2) アジア各国との交流について

<韓国>

- ・KSEG 秋季研究発表会の招待講演者のアブストラクトについて説明がなされた。発表用 PPT について、引き続き英訳作業を進める。
- ・プレゼンテーション動画(10/29 提出〆切)の録画方法、および開催後の JSEG 内での動画閲覧可否について、主催者へ確認する。
- ・「土砂災害とのつきあい方10箇所」英訳文(案)への指摘等は、10/22(金)までに委員会内で共有する。なお、④の内容について、他国で誤解を招かないように英訳時に十分注意する。
- ・KSEG から JSEG への講演受け入れは、コロナ禍が収束する 2022 年度以降とする。来年度(シンポジウム、研究発表会、若手技術者交流会など)に実施する場合は、早めに理事会へ話を通しておく。

<CHINESE TAIPEI>

- ・CHINESE TAIPEI Regional Group の代表から回答があり、YEGsのメンバー2名を窓口として交流を進めたいとのこと。今後の進め方について、両氏と親交の深い JapanNG 代表と協議する。なお、JSEG 側の YEGs 対応メンバーの増員候補についても検討する。

<その他>

- ・今後、各国との交流を活発化していくことを想定した場合、事前に講演協力して頂ける候補者や災害地質研究部会(60 周年特集記事など)の協力を得た上で、発表用素材(英語版PPT)を常備しておくのが望ま

しい。

3) Council Meeting 関連

- ・2021 Council Meeting の開催内容について説明がなされた。JSEG 用の参加報告を作成する。

4) Webinar Call 関連

- ・IAEG へのデータ提供に向けて、紹介英文を作成する(参考:KSEG 講演時の文面)。

5) RMEGV 2021 関連

- ・IAEG 関係者へ送付した御礼メールについて説明がなされた。

(2) その他

1) 学会誌 Bulletin 紹介

- ・学会誌 12 月号の掲載記事原稿について説明がなされた。
- ・第3シリーズの方向性に関する記述を一部修正する。内容について指摘がある場合は、10/22(金)までに委員会内で共有した上で、10 月中旬に編集委員会へ原稿チェックを依頼する。
- ・半年に1回程度を目標に、投稿論文の分野別傾向を分析する。
- ・新スタイルでは翻訳時の担当者の負担軽減のため、原稿は最大2ページ程度とする。内容の一例として、各担当が自身の得意とする業務分野に着目し、同分野での Bulletin 掲載論文の紹介を絡めて、最近の国内動向との比較を行う、など。

2) 海外調査団報告書の著作権チェック

- ・公開用pdfの内容について総務委員会の承認を得たので、学会 HP(国際委員会ページ)へ掲示する。

3) 若手技術者を対象とした海外技術関連情報・知見の発信について

- ・学会事務局外での開催は当面難しいため、まずは Web 形式での開催に向けて準備を進める。なお、来年度の研究発表会で特別セッションに加えてもらう場合は、来年2月頃までに内容を検討しておく必要がある。

4) ダイバーシティ推進特別委員会

- ・令和 3 年度第 5 回委員会の議事録について説明がなされた。

5) 将来構想特別委員会 講習会アンケート

- ・アンケートの回答について説明がなされた。

6) 海外シンポジウム

- ・現在、学会 HP に掲載中の情報について説明がなされた。適宜内容を最新情報に更新した上で、JSEG_HP のトップページ及び学会 NL での周知を手配する。

7) 国際会員情報(メールアドレス不明者)

- ・メールアドレス不明の5名について、引き続き情報収集を行う。

4. ホームページ関係

(1) JSEG 英語版 HP

- ・今後の HP 更新担当のうち、掲載コンテンツの検討は担当委員が主体となって進める。
- ・JSEG の Facebook 公開内容について確認した。国際委員会における今後の SNS 活用については、広報・情報委員会の動向に合わせて対応する。
- ・直近での新たな試みとして、国内災害情報の速報的な情報提供(SNS)や災害調査団写真集コーナー新設(HP)などの対応準備を進める。

(2) JSEG 日本語版 HP

- ・更新状況について確認した。引き続き、必要に応じて更新を行う。

5. 海外情報の共有

- ・次回委員会では、「海外アラカルト④_外国籍の技術者から見た日本」を行う予定とする。
- ・今後も継続するため、海外業務の経験豊富なメンバーへの協力を要請する。

6. その他

- ・次回委員会(令和3年度_第4回)は、令和3年12月中旬に開催する方向で調整する。
- ・国際委員会としての当面の重要対応案件については、以下の各委員による役割分担(案)で対応を進める。
 - ①韓国・台湾NGとの交流推進
 - ②若手技術者向けの海外技術関連情報の発信
 - ③HP等での海外発信用コンテンツの作成
- ※③は災害調査団速報も含むため、災害地質研究部会への英訳作成協力を要請する。

以上